

## インパクトハンマーテスト

SpectraPLUS-SC Impact Hammer テストのセットアップ例：(要 Option 02/08)

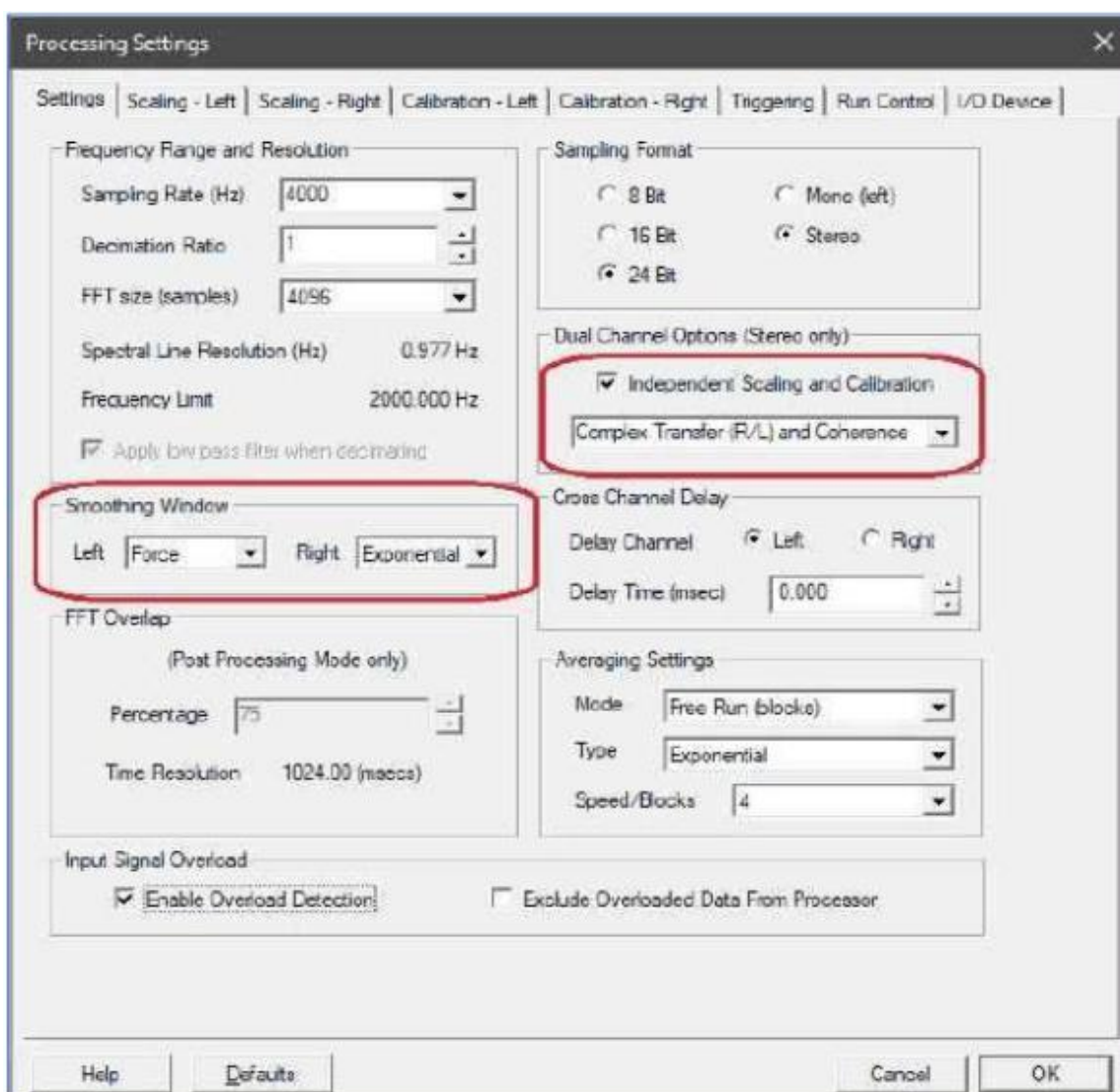
この例では、SpectraDAQ-200 データ集録モジュールを使用し、左入力チャンネルにインパクトハンマー、右入力チャンネルに加速度計が接続されていると想定しています。

<Options><Processing Settings>メニューでメインのセットアップダイアログボックスを表示します。次のスクリーンショットは、一般的な設定の例です。

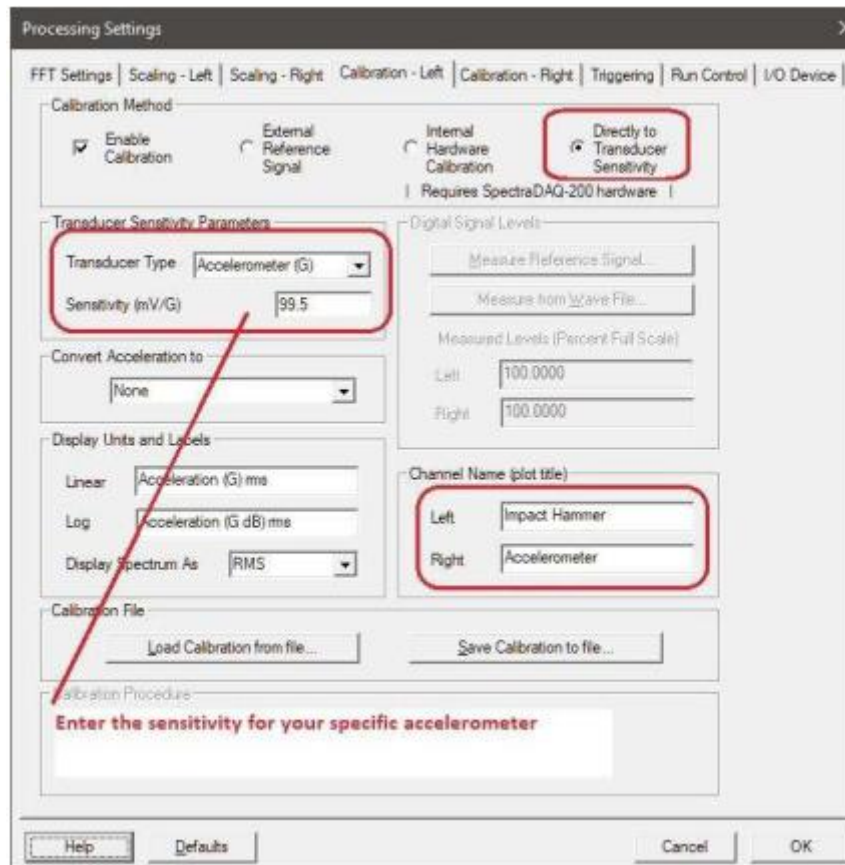
一般的に低周波数のみを対象としているため、サンプリングレートは低くなります。

Force/フォーススムージングウィンドウは、インパクトハンマーのフォースセンサーに使用され、Exponential/指数関数スムージングウィンドウは加速度計チャンネルに使用されます。

左の入力チャンネルに接続されているインパクトハンマーのキャリブレーションセットアップ

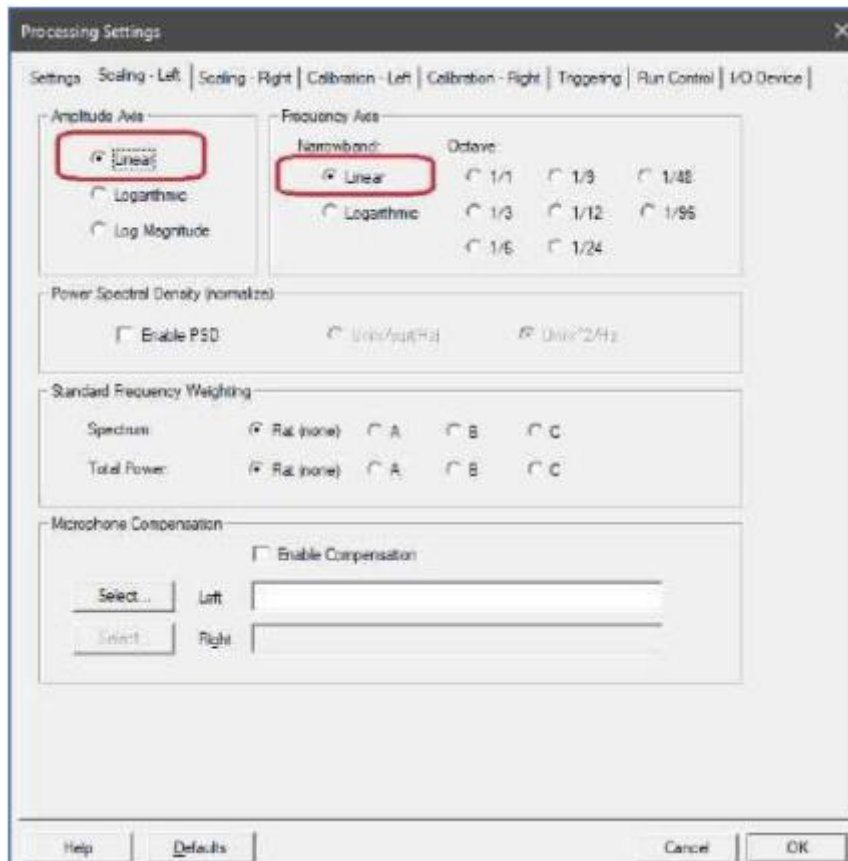


右入カチャンネルに接続されている加速度計のキャリブレーションセットアップ

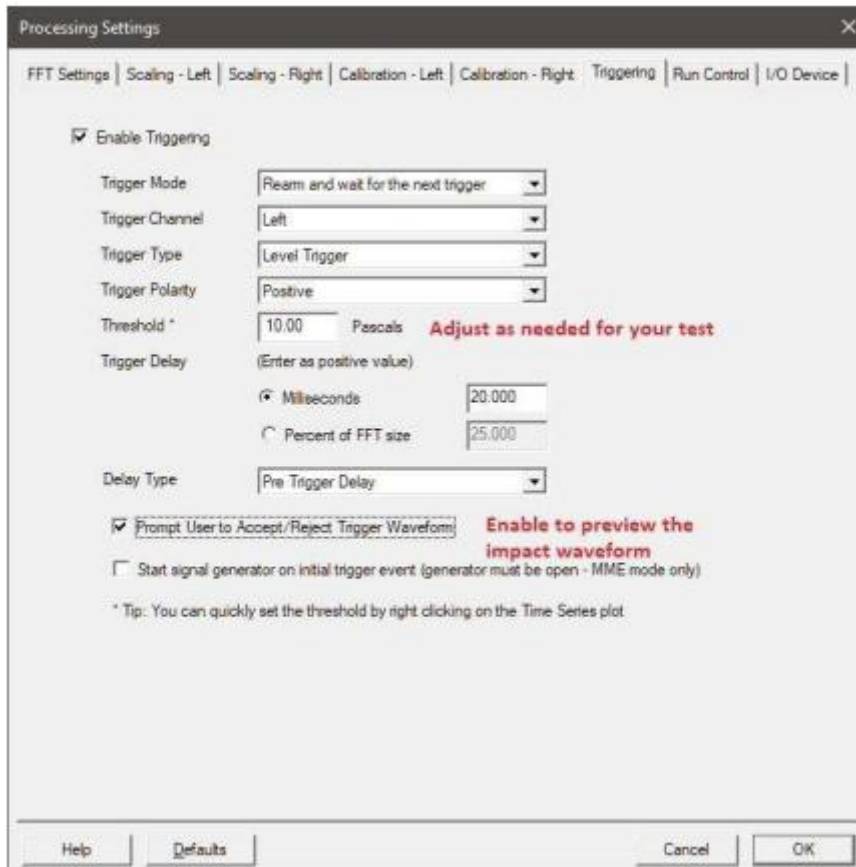


\*加速度計の感度を入力します

右チャンネルはスケーリングも Linear/Linear に設定されています

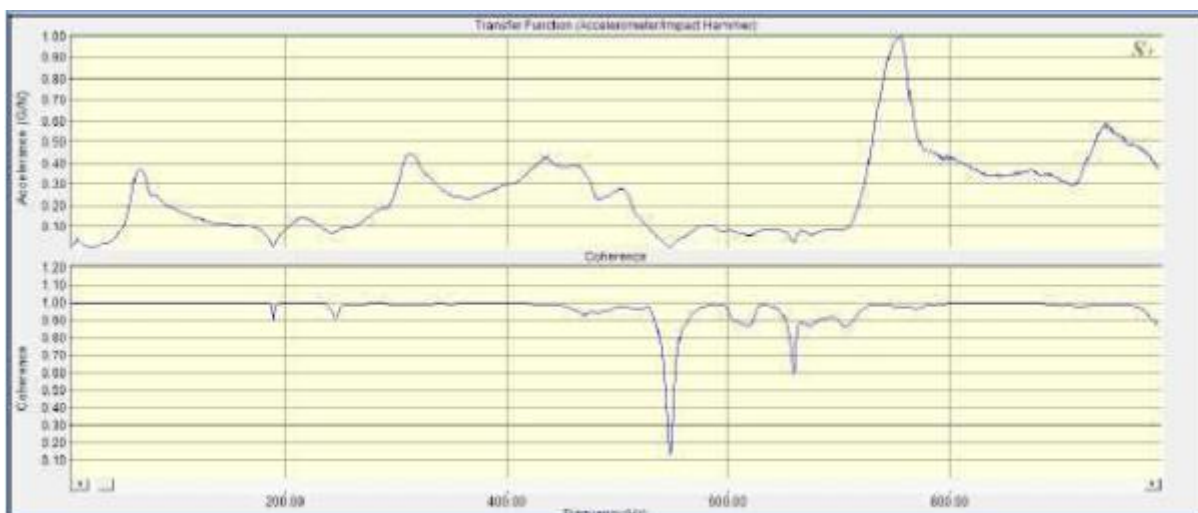


インパクトと加速度のデータに対してのみ測定が実行されるように、トリガーが必要です



\*必要に応じて調整します。  
\*衝撃波形のプレビューを有効にします。

以下のスクリーンショットは、加速度計とインパクトハンマーの間の伝達関数を示しています(加速度(G)対力(N))。コヒーレンスは下のプロットに表示されます。これら2つのチャンネルの伝達関数は、加速度(acceleration/force)のプロットを生成します



[キャリブレーション]ダイアログボックスの“Convert Acceleration To”リストボックスを使用して、加速度を速度または変位 (Velocity or Displacement) に変換することもできます。これにより、次のプロットが生成されます。

$$\text{Mobility} = \text{velocity} / \text{force}$$

$$\text{Compliance} = \text{displacement} / \text{force}$$